

ベイタウンニュース

100号達成記念号

本紙「まくりベイタウンニュース」は今月号で創刊100号を迎えました。ひとえにこれまで本紙を愛読し支えていただいた読者のみなさんのおかげです。今月は取材の手を休み、創刊以来7年ぶりの夏休みをとりながら、これまで歩んできた100号を振り返ることにしました。



私の選んだニュース 10 選 【板東 司】

これまでの 99 号を振り返るのは、けっこう大変な作業でした。一緒に見てくれた妻からは、「あなたの記事は考えてばかりね」と指摘された通り、私の記事は「交通問題」とか「自治会」とかを『考えてみよう』という堅苦しいものが多かったようです。さて、ベスト 10 を選んでみると、比較的古い年代のものが多くなってしまいました。やはり、当時はまだ街創り真っ最中で、いろいろなことがダイナミックに動いていたため、ニュースも今とは中身も重みも違っていたように感じます。

何とか 100 号という節目を迎えられた本紙ですが、次の目標である「10 周年」まで、時にはマンネリを感じつつも、読者の皆さんから求められるコミュニティ紙であり続けられますよう頑張りますので、引き続き皆さんのご愛顧・ご声援をお願いします。長いマラソンはまだまだ続きます。

1 選 「発刊にあたって」 創刊号（'97.6）

ナンバーワンは、やはり創刊号。はたして、何回出せるのか分からない中で、どんな内容を、どんなレイアウトや論調で伝えるべきか、編集局内で議論・試行錯誤したことを記憶しています。

2 選 「読者の投書から」 21/22 号（'99.2/3）

路上駐車に関する読者からの投書と記事という双方向のコミュニケーションで、紙上で議論が進んだ点が印象深かった。今もコアに投書箱は設置していますが、入れられているのはレシートやゴミばかりで、ちょっと悲しい。

3 選 「SH-1 街区の店舗について」 5 号（'97.9）

今はバーミヤンのある場所に、24 時間営業のファミリーレストランが建設される計画を取り上げました。続く 6 号では、自治会連合会によるアンケート結果も掲載しました。結果的に、24 時間営業のファミレスはこの街に馴染まない、ということで計画取り下げに至ったという点で社会的影響が大きかったように思います。

私の選んだニュース 10 選 【金 一剛】

1 選 「創刊号の編集後記」 創刊号（'97.6）

『何事も最初が肝心とは思いますが、なにぶん不慣れなもので、思ったような紙面を作成するのは想像以上に難しいということを実感しています。これから、定期的に発刊していけるのか非常に不安ですが、皆さんの暖かいご支援があれば、何とかやっていけるのではないかと思います』と創刊号の編集後記に書いたが、今読み返して見ても継続発行に不安を感じていた当時の気持を率直に表現していると思う。創刊号と言えば、記念すべき第一号の広告は三井不動産だった。三井不動産の広告紙の表紙が当紙への広告としてそのまま使われたものだから、ベイタウン住民もコミュニティ紙の創刊号だと気づかなかった人が多かったことが印象に残っている。

2 選 「幕張ベイタウン自治会連合会発足」 2 号（'97.7）

役員を紹介しているだけの簡単な内容だが、生みの苦しみを味わった後だけに感慨深いものがあつた。第 2 号から佐藤則子編集委員が参加してくれた。彼女のおかげで現在のような見やすい垢抜けた紙面の形ができあがった。

3 選 「ワインと音楽に酔いしれた夏の夕べ」 3 号（'97.8）

5 番街のパティオ（中庭）で、同番街在住のヴァイオリニスト・御木まどかさんと 3 番街のピアニスト・安藤歩さんの協力を得てワインを飲みながらクラシック音楽を楽しむイベントが開かれた。当日は日暮れとともに、子供連れ、あるいは夫婦で友だちと一緒になど思い思いに人々が集まり始め、竹林を配した和風の中庭はたちまち聴衆で埋められた。集まった大勢の人達の楽しげな様子を見ながら、この街に来て本当に良かったと感激した。



4 選「牛が帰ってきた」10 号（'98.3）直前の 9 号で 1～6 番街の 12 星座のモニュメントのうち、1 番街の牛だけが盗難にあったことをお報せしたところ、すぐに犯人（の知人）から返却されました（けっこう感動した!）。

▼5 選「新春いろはかるた」8 号（'98.1）正月らしく、いろはがるたをあしらって自治会連合会役員の新年の抱負を紹介しました。本紙がビジュアル面で一歩進みました（と思っています）。▼6 選「読者アンケート」17 号（'98.10）全戸にアンケートを配り集計した、今ではとても無理（当時は 2000 戸でしたが、今や 7000 戸!）と思われる壮大な企画。ちなみに、回答率が非常に低かったので、びっくりしたことも覚えています。▼7 選「年男男女女撮影会」20 号（'99.1）名物シリーズの第 1 回ということで選びました。▼8 選「WE LOVE SOCCER!」33 号（'00.2）当時レイソルの北嶋選手がベイタウンに来て少年たちと交流しました。余談ですが、10 月にはジェフ千葉のホームスタジアムが蘇我にオープンします。ロッテと同様、「我が街のチーム」として皆で応援しましょう!▼9 選「新春ほろ酔い座談会」44 号（'01.1）現在もこの街の各方面で活躍する 4 氏（佐藤さん、樺田さん、村岡さん、荒巻さん）の街に対する前向きな想いを聞けておもしろかった。▼10 選「はしご車同乗体験記」59 号（'02.4）記者ならではの役得のひとつとして取り上げました（内緒ですけど、他にもシータワーに誰よりも先に登ったり、マリンスタジアムの内部に潜入したり、けっこう役得もあるんですよ）。

4 選「昼間でもベイタウンでは星座が見える!」（消えた牡牛座の謎）9 号（'98.2）特集した「ベイタウンの星座」記事がきっかけで、1 番街の牡牛像が戻る。▼5 選「ベイタウンニュース編集局テレビに出演?」31 号（'99.12）編集局員 6 人が NHK BS「おーいニッポン!」県民 1000 人メッセージに出演した。ベイタウンニュースの活動と、街の PR をと意気込んだが、放送時間はわずか 5 秒だった。▼6 選「開館! ベイタウン・コア」59 号（'02.4）街開き以来の悲願（?）、コミュニティ・コアが長年の住民活動の末オープンした。▼7 選「待ちに待ったスーパーマーケットが 3 月末にいよいよオープン!」10 号（'98.3）思えば入居以来 3 年間もコンビニしかなかったなんて...▼8 選「ベイタウンブリッジ完成予想図」11 号（'98.4）99 年 10 月号で名称決定、2000 年 4 月に開通する。記事掲載から開通まで 2 年間もかかったが、信号無視状態で自転車で通りを横切っていた綱渡り生活に終止符がうてホッとする。▼9 選「さようなら打瀬小学校」48 号（'01.5）海浜打瀬小学校の開校にともない、打瀬小残留組に見送られ、海浜小移転組が歩き始めた感動的な写真が掲載された。もうこんな光景は見られないと思われたが、来春には第 3 小開校で同様なドラマが再び繰り返されることに...▼10 選「新春恒例 第七回年男男女女撮影会 at マリンフォート展望台」80 号（'04.1）この年だけマリンフォート展望台で撮影するも、翌年には年男男女女撮影会シリーズの原点である「コア」中庭に戻る。ある意味では記念すべき 1 枚。

私の選んだニュース 10 選 【松村守康】

1 選 「コミュニティコア建設、無期限凍結か」 12 号（'98.5）

コミュニティ・コア（現在のペイタウン・コア）は 1998 年度に建設開始予定だった。それまで住民から 3 名の代表を出し、行政、事業者、住民の間で「コミュニティ・コア事業化研究会」という公式の検討会を発足させて検討してきたコア建設が、予算が確保できないという理由で「無期限凍結」になる懸念が出てきたことを報じた記事。期待が大きかっただけに住民の反発も大きく、後にそれが住民独自のコア検討会である「コミュニティ・コア研究会」の活動を活発化させることになった。街づくりを考える上でエポックメイキングな記事だった。

2 選 「さようなら打瀬小学校」 48 号（'01.5）

「去る 4 月 5 日、打瀬小学校では新しく開校した海浜打瀬小学校に通学する児童と、打瀬小学校に残る児童との『お別れ式』が行われた。式は両方の小学校の子どもたちが打瀬小学校校庭できれいに二派に分かれ、ゲームなどで楽しんだ後、『打瀬小学校で歌う最後の校歌』を歌った後、さようならの挨拶を交わして海浜打瀬小学校の子どもたちがペイタウンの街を横断して新しい小学校へと向かった」（記事本文より）。街が大きくなったことを実感する記事。



3 選 「ペイタウンは打瀬っ子を育てられるか」 51 号（'01.8）

「子どもたちを街で育てる」というテーマで開かれたフォーラムを伝えた記事。このフォーラムには当時慶応幼稚園の舎長「金子郁容」氏、打瀬小学校初代校長「溜昭代」氏も出席した。この頃は「ペイタウン・フォーラム」という手作りのフォーラムが何度も開かれていた。

私の選んだニュース 10 選 【佐藤則子】

1 選 「特報 !! 幕張ペイタウン・コア」 58 号（2002.3）

ペイタウンに最初にできる公共施設として、住民の期待を一身に集め、1997 年には住民有志による「コミュニティコア研究会」が発足。しかし、「コミュニティコア建設、無期限凍結か」（12 号 / 1998.5.1）というショッキングな記事が紙面を飾り、計画の遅れや規模の縮小などをお伝えしなくてはなりませんでした。パティオス 10 番街をずっとお借りして活動していたペイタウンニュースにとっても非常に気になることであり、住民のためにコアの最新動向をお伝えすることはもちろん、住民の期待を企業庁に知ってもらうこともニュースの大きな役割となりました。1999 年から始まった「年男年女特集」の撮影場所にコア建設予定地を選んだのも、いつかこの場所にコアが形を現すことを願っていたことです。

実際、56 号（2002.1.1）には建設中のコアが写っています。そして、いよいよ 58 号でオープン目前の施設内部を設計者の高谷時彦さんに同行してもらって取材。ヴェールを脱いだ施設は開放感にあふれたデザインが印象的で、これからここでどんな楽しいことが始まるのかワクワクしたのが昨日のこのことです。

2 選 「柏レイソルの北嶋秀朗選手がペイタウンにやって来た」 33 号（2000.2）

とにかくカッコよかった！北嶋秀朗選手（現在、清水エスパルス）が柏レイソル時代、かつての恩師・鈴木哲也コーチ（フロレンツ主宰）の依頼で子どもたちとのサッカー交流に来てくれたのです。凍えそうな寒さもなんのその、現役 J リーガーのテクニックのすごさにビックリ。北嶋選手がボールをもつと面白いほどボールが自由自在に操られて、まるで遊んでいるかのよう。気さくな人柄も印象に残りました。

94 号（2005.3.1）でペイタウンから J リーガー（ジェフ千葉の竹田忠嗣くん / パティオス 5 番街）が誕生したというニュースをお知らせしましたが、テレビや蘇我スタジアムで地元出身の選手たちを応援する日が来るのもそう遠いことではないかもしれません。

3 選 「屋間でもペイタウンでは星座が見える！」 9 号（1998.2）

この記事は私がペイタウンニュースの編集に参加して間もない頃のこと、自分が書いた記事が思わぬ反響を呼んだということで選びました。パティオス 1 ～ 6 番街のプロムナード沿いに十二星座のモニュメントがあると聞き、探し歩いて記事にしたもので、大村慶一氏による設置当時の興味深いお話を掲載しました。

そのなかで、1 番街にあるはずの牡牛座の牡牛が入居もなく消えてしまったと、台座だけの写真入りでお伝えしたところ、その牡牛が何日かして戻ってきたのです。ひっそりと私のメールボックスの前に置かれた段ボール箱の中を見ると、牛のモニュメントとお手紙が。手紙には「友人が出来心で持ってきてしまい気になっていたが、返しそびれていた。記事が返す勇気をくれた」という反省と感謝の気持ちが綴られていました。書いた記事がこんなかたちで読む方に伝わったと思うと本当にうれしく、同時に責任を感じた出来事でした。後から聞いた話では、名のある彫刻家の作品とのこと。現在は無事、「ビレッジバンガード」の角に戻っているので見てください。

4 選 「SH-1 街区の店舗について考えてみませんか」 5/6 号（'97.10/11）24 時間営業レストランの進出計画を巡り街が揺れた大事件。「賑わいのある街づくり」が問われた。▼5 選 「学校を核とした街作り」 18 号（'98.11）打瀬小学校の教育理念や方法を先生が本紙上でわかりやすく語ってくれた。▼6 選 「ペイタウンニュースに中学生記者が登場」 39 号（'00.8）打瀬中学校で住民が先生になり開催する「AT 講座」に参加。生徒がペイタウンニュースの記事を書いた。受講生の中からはジャーナリストを志望する生徒も出た。▼7 選 『「街づくり研究会（仮称）」設立へ』 39 号（'00.8）街を住民自身の考えでつくろうと企画された研究会。企業庁や事業者へ積極的に意見を出し、その後の開発計画に一定の影響を与えた。▼8 選 「あの時のご親切にお礼が言いたい」（投書から） 45 号（'01.2）お孫さんを連れて事故にあったご婦人が、救急車を呼ぶなど助けて頂いた方を探そうとペイタウンニュースに投書。次号では無事見つけられ、お礼をすることができたという投書が載った。地域紙冥利（みょうり）に尽きる記事。▼9 選 「東の街ペイタウンニュース配布会」 48 号（'01.5）「ペイタウンニュース配り」というボランティア作業を番街集会室の定例行事にすることで、交流行事を創り出した東の街のアイデア。この配布会は現在も継続中。▼10 選 「コアのピアノを選定する会」 52 号（'01.9）コア・ホールのフルコンサートピアノ選定会議。この会がもとになり、名器 Fazioli F-273 を購入する募金活動やチャリティコンサートが開かれた。

4 選 「街開き 5 周年を機にペイタウンフォーラム開催」「ペイタウン事業の変更にかかわる説明会」 38 号（'00.7）▼5 選 「待ちに待ったスーパーマーケットが 3 月末にいよいよオープン！」 10 号（'98.3）リンコスも経営がマルエツに移り、売り場面積も広がった。ちなみに 1 人あたり客単価 3,000 円は他のマルエツの標準店の 1.5 倍だそう、ペイタウンのお客さんは「いいお客さん」らしい。▼6 選 「幕張ペイタウンがグッドデザイン賞を受賞」 30 号（'99.11）▼7 選 「自治連合会の愛称が決まりました！『ペイタウン こむこむ』」 3 号（'97.8）「自治会連合会」を住民に親しみやすい存在にしたいという思いから愛称を募集したもののだが、現在は残念ながら使われていない。ちなみに「こむこむ」は「コミュニケーション&コミュニティ」と「COME COME（来て来て!）」という意味が込められている。連合会離れが指摘される昨今だからこそ、この愛称が必要なのでは…? ▼8 選 「はしご車同乗体験記」 59 号（'02.4）路上駐車の問題を緊急車両の出動という視点から、打瀬出張所の全面協力を得て訴えたのが「はしご車同乗体験記」。金記者が同乗して駐車車両を避けながら運転する困難さを身をもって伝えた。▼9 選 「さようなら打瀬小学校」 48 号（'01.5）去る子ども、友だちを送る子ども。ペイタウンの歴史的瞬間を写真におさめた資料的にも貴重な紙面になった。早いもので、来年には 3 つめの小学校がスタートする。▼10 選 「サポーターの会発足」 20 号（'99.1）ペイタウンニュースになくはならない存在が、配布を手伝ってくれているサポーターの皆さん。勝手に「サポーター」と呼ばせていただいたのは 1999 年からのこと、これからもよろしく願いいたします。

100 号発刊に際して（編集後記に代えて）

実は創刊号の編集後記を書くとき、自分の住所や電話番号を記すことにためらいがありました。自分の書いたものに責任をもつことは当然ですが、誤解や行き違いなどでどんなトラブルが起こるかわかりません。もしトラブルになった場合、個人情報を明かしているこちらが圧倒的に不利になるのではないかと、そんなことを考え迷っていました。

しかし、よく考えてみると自分がこのような地域紙をだすのは、出来たばかりでルールもなにもないベイトアウンを、言論が圧迫を受けるような街にしたいくなかったからではないかと考え、勇気を出してこの新しい街の「民意」に賭けてみようと思いました。

ベイトアウンニュースに記事を書き、自分の意見を出したことで今まで圧力や中傷を

うけるなどのトラブルはありませんでした。あの時の判断は正しかったようです。

松村守康 (#10-612/T&F:211-6853/
mmatz@m2.pbc.ne.jp)

東にタワーマンションができると聞けば登り、西にロッテの快進撃の噂を聞けば行って話を聞き、南に街路樹の観察をしているグループがいれば一緒に木を見て歩き、北に京劇を演ずる人々がいれば自ら体験記事を書き……。振り返ってみて、大袈裟に言えば、ベイトアウンのその時その時に立ち会ってきたように思います。本業の仕事で疲れている時も、取材先で人に会えば不思議と元気がもたらえたものです。

ベイトアウンはマンションの集合体から「街」へ変貌しつつあります。お洒落な外観がグッドデザイン賞をとったように、今度は「人の顔が

見える」「人が魅力の」コミュニティが評価される、本当の意味で「いちばん住みたい街」が試されるときです。

佐藤則子 (#3-310/T&F:211-0090)

振り返ってみれば、あっという間の 100 号で、「思えば遠くに来たもんだ」という感じがします。当初、「編集後記こそ自分の好きなことが書ける」と楽しんで書いていたのですが、「公共の誌面で自分のことばかり書くな」と言った主旨の投書があり、「えっ、ベイトアウンニュースって『公共のもの』だったの?」と改めて考えさせられたことがあります。自分達で資金を集め、自分達の手で記事を書き、(当時は)自分達の手で配っていたので、ちょっと傲慢な思いもあったのかも知れません。今や、スポンサーの皆さんや、情報を寄せてくれる関係者、8,000 戸への配布を毎月手伝ってくれるサポーターの皆さんなど、多くの方の支援がなければ成り立たないということを再認識し(ちょっとプレッシャーにも感じ)、次の一步を踏み出そうと思います。なお、街が大きくなり、編集後記のスペースが取れないほど、お知らせすることが多くなったことが、喜ばしくもあり、ちょっと残念でもあります。

板東司 (#1-210/T&F:211-0289/
tbando@m2.pbc.ne.jp)

10 年前の街開きから 2 年が過ぎた 1997 年 6 月、ベイトアウンニュースは創刊されました。編集委員たちは、何もなかった街で何か街づくりの役を担いたいという一念からボランティアの編集作業に参加しました。そしてたくさんの方がベイトアウンニュースを支えてくれたおかげで、これだけ大きくなって人口も増えた街の 1 軒 1 軒に今でも毎月ニュースが配られています。発刊当初ベイトアウンニュースは街の自治会の広報誌になる予定でした。しかし、それでは記事の中立性や多様な話題を載せられないとの考えから、経済的に自立するため発行費用はすべて広告収入だけでまかない、住民の情報共有の観点から街が大きくなっても全戸に無償配布することにし、取材・編集・配布の一連の流れを全てボランティアでまかなうという方針を今まで貫いてきました。今回 10 大ニュースを選ぶため、創刊号から 99 号まで全てに目を通しました。そして気づいたことは、当たり前ですが毎号毎号の積み重ねが 100 号につながったということです。次の目標である 10 周年までまた一歩一歩続けていきたいと思っています。

金一剛 (#3-220/T&F:211-0388/
ikkim@cc.e-mansion.com)

ベイトアウンニュースは毎号みなさまのご自宅ポストまで届けられています。創刊当時は 2000 戸ほどの数で編集部員自ら各番街のポストを回って配っていました。しかし今ベイトアウンの総戸数は 7000 を超え、とても片手間でできる仕事ではなくなりました。毎月広告ビラを挟み込み、各番街のポスト 1 つ 1 つにポスティングして下さるのは「ベイトアウンニュース・サポーター」のみなさま。小学校 2 年生から 70 代のシニアまで、みなさんボランティアです。これまで 100 号を発行することができたのはサポーターのみなさんのおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます。

また、ベイトアウンニュースは市民のボランティアによる新聞ですが、印刷については手弁当という訳に行かないので、近隣の企業から広告をいただき、その掲載料を充てています。ここに定期的に広告を掲載することでベイトアウンニュースを支援して下さっている企業をご紹介します。(株)ヤナセ稲毛支店(メルセデスベンツ正規代理店)、ヤナセアウディ販売(株)、(株)モトレン千葉(BMW 正規販売店)、京成バス(株)、(株)三井不動産グループ(ベイトアウン開発事業者)、ホテル ザ・マンハッタン、平和交通、ホテルフランク、リンコス、ケーブルネットワーク千葉(順不同、敬称略)。また都市公団(現都市機構)には年間契約で B-Information のページに広告を掲載いただき、定期掲載以外の企業を加えると協力企業は延べ 33 社を数えました。この場を借りてお礼申し上げます。

幕張新都心によさこいチーム結成！

楽しみながらまちづくり ～幕張新都心に新しい文化を創ろう！～

幕張新都心よさこいチームは幕張メッセに関連する商業施設やホテルで組織されている関連企業懇談会を母胎に結成する企業チームです。メンバー構成は 16 歳から 40 歳まで、マスターメンバーと呼ばれる関連企業より派遣された人々とレギュラーメンバーと呼ばれる一般公募により集まった人達とで組織する県内初の企業チームとして、新都心に旋風を巻き起こしましょう

説明会 & 入会審査開催案内

9 月 1 日(木)、9 月 8 日(木)

19:00～22:00(18:30 受付開始)

場所: 幕張メッセ国際会議場 1F プレゼンテーションルーム

踊り子募集(一般公募)概要

・募集期間 2005 年 9 月 8 日(木)まで

・募集対象

性別 性別は問いません

年齢 16 歳～40 歳

・募集人数 100 名

・会費 入会金・会費は無料です。

お問い合わせは:

幕張メッセ企画広報課内

よさこいチーム一般公募受付係

担当 蜂谷、小林

住所 千葉市美浜区中瀬 2-1

TEL: 043-296-0601

連絡は月曜日～金曜日

9:00～17:00 の間をお願いします

2005.8.27



EVENT CALENDAR Sep. 9月のイベント

9/8

(木)

ママと一緒にのはなし会

時間：11:00～

会場：子育て支援センター（打瀬保育園内）

対象：赤ちゃんから就学前までのお子さま
とそのお母さま

内容：絵本、紙芝居、手遊び

主催：わくわくお話会

小さな赤ちゃんも、ママのひざの上で楽しそうに絵本をみています。子育て支援センターにまだ行ったことがない方もぜひお立ち寄り下さい。

9/17

(土)

わくわくおはなし会

時間：10:30～

会場：ペイタウン・コア 工芸室

対象：年齢制限はありません。どなたでもどうぞ

内容：絵本、紙芝居、ゲーム

みんなで楽しめるゲームもあります。ぜひいらしてください。

9/24

(土)

寺子屋工作ランド

時間：10:00～（受付 9:30）

会場：ペイタウン・コア 工芸室

内容：竹トンボ他

内容はコア掲示板に掲示します。

9/10

(土)

「しほりぞめのバッグ」(寺子屋 手芸教室)

時間：9:00 受付 9:30 開始

場所：ペイタウン・コア 工芸室、調理室

人数：小学生以上の子ども 30人（先着順）

「絞り染め」でバッグを染めます。

持ってくるもの：ゴム手ぶくろ、エプロン、はさみ、タオル、服装は汚れていい服が便利です。晴れていれば屋外に出るので帽子。

参加費：150円

9/25

(日)

第32回 ファッティオリの会

時間：9:30～11:30

会場：ペイタウン・コア 音楽ホール

申し込み締切日：9月18日（日）

連絡先：阿曾 TEL&FAX 211-0273

ファッティオリの会は、ペイタウンの皆様に、楽器演奏や声楽・合唱など、ソロでもアンサンブルでも、コアホールで音楽を楽しんで頂く会です。すでにピアノ、フルート、ヴァイオリン演奏のお申し込みが来ています。

どうぞ、お気軽にご参加下さい。非公開も受け付けています。

♪第9回ペイタウン音楽会「オータムコンサート」出演者募集

10月16日（日）コア音楽ホールにて、第9回ペイタウン音楽会「オータムコンサート」を開催いたします。楽器演奏・声楽・合唱など、ソロ・アンサンブルを問わず、住民の皆様に発表して頂けたらと思っています。お申し込みをお待ち致しております。

申し込み締め切り日：9月20日（火）

連絡先：須原 tel&fax 211-0350

e-mail suhara-u@jk9.so-net.ne.jp

感じてください秋の空気。
見上げてください秋の星。



Photo: Audi A3 Sportback 2.0 FSI
(電動オープンスカイルーフ仕様 装着車)

Audi A3 Sportback Open Sky Roof仕様 登場!

スポーツマインドあふれるアウディに、新しい快感“電動オープンスカイルーフ”仕様*が誕生しました。2つのガラスサンルーフで、開放感もいっぱい。フロント部のスライドやチルトアップで、オープンエアをお愉しみいただけます。またサンシェードも装備ですから、日光を遮ることも可能です。

アウディの価値を、価値あるプライスで。

Audi A3 Sportback Attraction New
総排気量: 1,995cc 6速デュプリクシAT 右ハンドル **¥2,840,000**

Audi A3 Sportback 2.0 FSI	総排気量: 1,984cc 6速デュプリクシAT 右ハンドル	¥3,390,000
Audi A3 Sportback 2.0 TFSI	総排気量: 1,984cc 6速DSG 右ハンドル	¥3,990,000
Audi A3 Sportback 3.2 quattro	総排気量: 3,188cc 6速DSG 右ハンドル	¥4,750,000

(上記価格には“電動オープンスカイルーフ”仕様は含まれません。価格はすべて消費税込み)



(*アウディ A3 スポーツバック全モデルにオプション設定)



Photo: Audi A4 Avant 2.0 TFSI quattro

Audi A4 Avant New

洗練のスタイリングに凝縮された、アウディの先進テクノロジー。
大人のための最も美しいスポーツ・ワゴンが、ここにあります。

Audi A4 Avant 2.0	¥4,060,000
Audi A4 Avant 2.0 TFSI quattro	¥4,880,000
Audi A4 Avant 3.2 FSI quattro	¥6,130,000

(価格はすべて消費税込み)

ヤナセアウディ販売(株)3周年記念

感謝フェア

9/3 sat. 4 sun.
10:00a.m. - 6:00p.m.

3周年、しかも9月決算ならではの感謝にぜひご注目ください。

Audi正規ディーラー

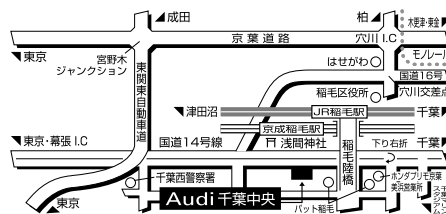
Audi 千葉中央

ヤナセアウディ販売株式会社

千葉県千葉市美浜区稲毛海岸2-2-35 〒261-0005

TEL(043)242-5245 FAX(043)204-7771

audi_chiba_cyuo@yanase-audi.co.jp



カタログ/試乗等のリクエストは
お電話・FAX・Eメールにてお気軽にどうぞ。

お客様の個人情報の取扱いについては
アウディホームページ www.audi.co.jp をご覧ください。

●表示価格は2005年9月現在の消費税を含む車両本体価格です。スペアタイヤ、標準工具一式が含まれていますが、オプション装備価格、付属品価格、保険料、税金(消費税を除く)、登録に伴う諸費用等は含まれていません。●別途リサイクル料金が必要となります。●写真は日本仕様と一部異なる場合があります。